

2022年3月27日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**
第64巻第52号(通算3280号)
教会設立 1959年6月14日

しゅうほう
週報

教会標語

かみさま ひと とち
神様がすべての人と共におられる
ことを証ししていく教会



〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:15-10:30 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

主任担任教師・牛田 匡 牧師

担任教師・水谷 憲 牧師

隠退教師・小林 達夫 牧師

ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

丈夫な人には医者はいらないが、具合の悪い人には、必要なのだ。実に、私が来たのは、「正統派の人」を招くためではなく、「道をふみはずした者」を招くためである。(マルコによる福音書2:17)

じゆなんせつ だい しゅじつれいはい
レント(受難節) 第4主日礼拝

れいはい ちゅうけいはいしん
《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでも
しちょう ばしよ とち れいはい
ご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をしていただけます》

- ぜん そ う (もくとう) ちよさくけんしやうめつ
前 奏(黙 禱) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)
- まね ごと びん へん せつ
招きの詞 詩編 27編 13-14節
- さん び か にな じゅうじか せつ
賛美歌 21-305番「イエスの担った十字架は」(1-4節のみ) (©JASRAC)
- しょうとう ごと ばん しゅ つよ みうで さん び か かいいていいんかい
消灯の詞 賛美歌 21-392番「主の強い御腕よ」(©讚美歌改訂委員会)
- せい しょ せん と てがみ しょう せつ
聖 書 コリントの信徒への手紙II 4章 1-12節
- いの びん あゆ ちよさくけんしやうめつ
お 祈り 賛美歌 21-505番「歩ませてください」(©著作権消滅)
- さん び か やみ ひかり かがや い せつ
メッセージ 「闇から光が輝き出でよ」 牛田 匡 牧師
- さん び か ばん かみ にほん きやうだんしゅつばんきやく
賛美歌 21-500番「神よ、みまえに」(©日本キリスト教団出版局)
- しゅ いの ばん てん わたし ちち きやうだんさん び か かいいていいんかい
主の祈り 21-62番「天にいます 私たちの父」(©教団讚美歌改訂委員会)
- たんじやうしやしゅくふくしき うしだ ただし ぼくし
誕生者祝福式(*) 牛田 匡 牧師
- きさげもの
献げ物(**)
- は け ばん かみ めぐ う せつ
派 遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)
- しゅくふく うしだ ただし ぼくし
祝 福 牛田 匡 牧師
- こう そう ばん ちよさくけんしやうめつ
後 奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©著作権消滅)
- ほう こ ページ さんしやう
報 告 (4頁をご参照ください)

《お隣と間隔をあけて、席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

*みんなで3月生まれの方(と今年度3月までにお生まれの方)を祝福いたします。ご遠慮なさらず、どなたでもお申し出ください。

*「献げ物(献金)」は参加費ではございません。
うけつけ けんきんばこ ようい かた ささ
受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞 詩編 27編 13-14節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

13 私は信じます／生ける者の地で主の恵みにまみえることを。

14 主を待ち望め。／勇ましくあれ、心を強くせよ。／主を待ち望め。

消灯の詞 (参照：ヨハネによる福音書 12章 13, 15節)

司式者 イエス様がエルサレムに入られた時、大歓迎を受けました。

みんな 「ホサナ。主の名によって来られる方に、祝福があるように」

司式者 その数日後には、イエス様は罪がないのに捕らえられました。

みんな 力ある人々は言いました。「十字架につける」

聖書 コリントの信徒への手紙Ⅱ 4章 1-12節(聖書協会共同訳©日本聖書協会)

1 こういうわけで、私たちは、^{あわ}憐れみを受けてこの務めに就いているのですから、落胆しません。2 かえって、恥じて隠したりせず、^{はかりごと}「謀」によって歩まず、神の言葉を曲げず、真理を明らかにし、神の前で自分自身をすべての人の良心に推薦します。3 私たちの福音が^{おお}覆い隠されているとするなら、それは、滅びる者たちにとって覆い隠されているのです。4 彼らの場合、この世の神が、信じない者の心をくらまし、神の^{かたち}であるキリストの栄光に関する福音の光が見えないようにしたのです。5 私たちは、自分自身を^の宣べ伝えるのではなく、主なるイエス・キリストを宣べ伝えています。私たち自身は、イエスのためにあなたがたに仕える^{しもべ}僕なのです。6 なぜなら、「闇から光が照り出でよ」と言われた神は、私たちの心の中を照らし、イエス・キリストの^{みかお}御顔にある神の栄光を悟る光を与えてくださったからです。7 私たちは、この宝を土の器に納めています。計り知れない力が神のものであって、私たちから出たものでないことが明らかになるためです。8 私たちは、四方から苦難を受けても行き詰まらず、途方に暮れても失望せず、9 迫害されても見捨てられず、倒されても滅びません。10 私たちは、^b死にゆくイエスをいつもこの身に負っています。イエスの命がこの身に現れるためです。11 私たち生きている者は、イエスのために絶えず死に渡されています。イエスの命が私たちの死ぬべき肉体に現れるためです。12 こうして、私たちの内には死が働き、あなたがたの内には命が働くのです。

(脚注 a：あるいは「像」、b：別訳「イエスの死を」)

《先週のメッセージより》2022年3月20日 受難節第3主日礼拝

「私を救うもの」

牛田 匡 牧師

聖書 マルコによる福音書 8章 27-37節

ペトロはイエス様に「あなたはメシア（救い主）です」と言いました。教会ではよく「救い」という言葉を耳にしますが、そもそも「救い」とは一体何でしょうか。日本語の語源としては、「金魚すくい」のように、水の中を泳いでいたり、おぼれていたりするものを、水の中から「すくい上げる」ということや、また外からの力によって、危機的な状況から「助け上げる」際の「たすく」が「すくふ」になったと考えられているようです。私たちが今、直面している危機的な状況は一体何でしょうか。新型コロナウイルスもそうですし、経済格差も地球環境破壊もそうです。先月末からの続いているロシアのウクライナ侵攻もそうでしょう。4週間以上が経ち、被害は拡大し続けています。

どうして戦争があるのでしょうか。戦争をして得をすることはない、ということは、歴史を見ればすぐに分かるはずですが、にもかかわらず、今も戦争は止んでいません。その一番の理由は、やはり多くの人々が魂の奥深くで傷ついているからなのではないでしょうか。誰でも他人から大切にされたら、安心して自分も他人を大切にしようと思うのではないかと思います。「誰でもよかった」「何もかも、どうでもよかった」と言って、通り魔殺傷事件を起こす人たちも、その経歴や成育歴をさかのぼって見た時、幼い頃に心許せる友人や、自分のことを認めてくれる大人と出会っていたら、随分と違っていたのではないかと思います。私たちが一人一人の一番奥底にあって、この世界を支えているのは、結局のところ、富や財産、肩書きなどではなく、むしろ愛情や友情、信頼など、それこそお金では買えないようなものなのではないでしょうか。

「剣を取る者は皆、剣で滅びる」(マタイ 26:52)と言われたイエス様は、暴力に対して暴力で返さず、むしろその暴力の餌食となって、十字架で殺されていきましたが、その精神は今もなお生きて世界中に引き継がれ、多くの所で影響を与えて来ています。「どうしたら戦争がなくなるのか」それは国家対国家という政治の問題というだけではなく、一人一人の心、魂の問題という所から始めるしかなく、一人一人が平和を創り出す人になることが重要なのだと思います。イエス・キリストが示した本当の「救い」とは、他者を信頼できず疑心暗鬼になってしまう自分や、他者を恐れ暴力をふるわれる前に暴力をふるってしまおうとする自分、真実の命を生きられていない自分自身からの解放なのではないでしょうか。私たちが自分自身も人も大切にすることを通して、今日も身近な所から小さな平和を創り出すことを通して、この世界に働きかけていきます。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 3月20日 受難節第3主日礼拝

礼拝出席 大人 2名 中継動画再生数 11回
献金 大人 2,000円 感謝

◎次週 2022年4月3日(日) レント(受難節) 第5主日礼拝

(今年の「レント」(受難節・四旬節)は3/2~4/16です。レントの期間は、イエス様の生涯や十字架の意味、イエス様に従うとはどういうことかを考える時です)

招きの詞 詩編 126編 3-4節 (*礼拝はインターネットで中継配信いたします)

聖書 イザヤ書 43章 16-21節

メッセージ「道との遭遇」岡嶋千宙伝道師(向島伝道所)

賛美歌 21-312番(©讚美歌改訂委)、21-158番(©JASRAC)、21-462(©P.D.)

◎お知らせ

- ・本日、礼拝後に、釜ヶ崎・生活困窮者支援のための「おにぎり作り」を行い、いこい食堂に届けます。どなたでもご参加ください。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染爆発「第6波」が続いています。「まん延防止等重点措置」は先週に解除されましたが、依然として感染は続いています。ご自身の感染予防のためにも、他人に感染させないためにも、教会堂に集まる形での礼拝にこだわらず、インターネットの中継配信を利用したご在宅での礼拝など、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページからダウンロードしていただくことができます。

◎公告

4月10日(日)の礼拝後に、2022年度定期教会総会を開催いたします。

このまま新型コロナウイルス感染症の感染状況などが収まらなければ、昨年度と同様に書面決議になるかもしれません。開催方法については次週に再度お伝えいたしますが、議案は、以下のように予定しています。

【第1号議案：総会議長及び総会書記選出に関する件】

【第2号議案：組織】(総会成立の確認と宣言)

【第3号議案：2021年度教勢報告の承認に関する件】

【第4号議案：2021年度教会活動報告の承認に関する件】

(含 教会学校(CS)、婦人会、警報・非常時の対応、コロナ対応、慶弔費)

【第5号議案：2021年度教会会計決算の承認に関する件】

【第6号議案：主任・担任・協力教師の2022年度の謝儀等に関する件】

【第7号議案：2022年度教会活動の計画の承認に関する件】

【第8号議案：2022年度教会会計予算の決定に関する件】

【第9号議案：2022年度CS会計予算の決定に関する件】

【第10号議案：教区総会出席議員の選出に関する件】

【第11号議案：その他に関する件】

教会員の皆様は、ご予約ください。

◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
4/3	岡嶋伝道師	ユーカリスト・教会を考える会
4/10	水谷牧師	棕櫚の主日礼拝(午後・2022年度定期教会総会?)
4/17	牛田牧師	イースター礼拝・(愛餐会?)
4/24	岡嶋伝道師	誕生者祝福式・おにぎり支援

